

2021年5月30日(日)上福岡教会 Cs中高科礼拝

## 「イエス・キリストに結ばれて、神に対して生きている私たち」

今朝の聖書 ローマの信徒への手紙 6章1～11節

おはようございます。今朝の聖書の箇所は、洗礼式でよく朗読されます。聖書を開いて読みましょう。5月は私の洗礼記念日がありました(21日)。高校生の時、伝道開始5周年記念礼拝の日でした。来年は60周年ですね。

神様の子どもとされて日曜日に礼拝を捧げながら生きてきたのです。救い主イエスさまと共におられる毎日、教会堂が火災で焼けてしまった辛いこともあったけれど、そのような厳しい試練のときにも守られて、第一開拓伝道、坂戸教会が誕生し、第二開拓伝道の新座志木教会に遣わされ、ずっとイエスさまと共に生かされてきました。素晴らしい新会堂が完成して15年です。

2021年になって、びっくりすることが起こりました。日曜日に新しい方が礼拝に。帰りにご挨拶すると50年前の中学生の時、教会学校に毎週集って来ていて、聖書のお話を聴いていたというのです。「ええっ！」もう本当にビックリ。その頃も私は中学生たちの担当でしたから覚えていてくれたのです。50年もたっているのに……イエスさまを忘れないで教会に来てくれたなんて……「その話ホントなの？」と誰もが思ってしまうよ。でもウソではありませんよ。このような出来事を私たちは与えられて本当に生きて働いておられる神様が力強く人々をお招きになることがわかります。

先週、赤ちゃんの時から教会に連れてこられている中学生の声を聞きました。「いつか私も信仰告白したいけれど、まだまだその気持ちが揺れ動く」というのです。自分のことも思い出しました。「いつか洗礼を受けるかもしれないけれど……」と思いつつとそのまま過ぎていきました。みんなも中高生になってから「いつか信仰告白したいな…洗礼を受けたいな」と思っていると思います。その時はいつ来るのでしょうか？

十字架で私たちの罪の身代わりとなつていのちを捨てるために人間として誕生し、罪を犯すことのないご生涯を送られ、十字架にかかれ、葬られて、復活され、昇天され、神様の右に着座されたイエスさま。聖書は私たちにこの罪からの救い主イエスさまをいただきなさいと勧めています。

私たちは、何度も何度も神様を悲しませてしまうけれど、罪の支配から自由になって、日曜日ごとに罪の告白をし、神様の戒め(学んできた十戒)を感謝して守っていくのです。主の日の礼拝を大切に生きることができるよう。イエスさまを心から信じる時、イエスさまと一つに結び合わされ新しい命に生きる神の子となつていきます。一步一步導いていただけるのです。「信仰告白をしよう」「洗礼を受けよう」との決心が与えられますように。それは新しいいのちに生きる「入学式」です。

祈り「愛する神様、救い主イエスさまと一つに結び合わされることを心から感謝致します。どうか罪と戦うことができますように。信仰告白の喜びの日を与えてくださいますように。今コロナの中で大変な毎日ですが、今週も心の目を覚まし、日々祈り、希望をもって生きることができますように。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。」

熊田なみ子